

◇輸血検査◇

輸血とは、貧血などの病気や、事故または手術中の出血により不足した血液成分を補充する重要な補助療法です。

献血による人の血液を輸血することは、いろいろな副作用や合併症を引き起こす可能性があります。安全な輸血を受けていただくために、輸血前には必ず血液型、不規則抗体検査、交差適合試験の輸血検査を行います。

【主な検査内容】

血液型検査	ABO 型、Rh 型を調べる検査
不規則抗体検査	安全な輸血を妨げるような成分が、血液中に存在していないかを調べる検査
交差適合試験	輸血をしても安全かどうかを調べる検査

【主な輸血用血液】

成分名	販売名	使用目的
赤血球	照射赤血球液	高度な貧血の治療や、大量出血時の赤血球の補充
血漿	新鮮凍結血漿	出血ないし出血傾向がある場合の、凝固因子の補充
血小板	照射濃厚血小板	血小板数の減少による出血や出血傾向がある場合の、血小板の補充

現在、大きく機械化が進んでいる臨床検査の分野ですが、輸血検査では未だ検査技師の手による部分も多くあります。大きな外科手術時や貧血の治療などにおいて、輸血療法は現代の医療にとって欠かすことができないものになっています。1分1秒を争うような緊急事態（大量出血など）と重なる場合もありますが、できるだけ速やかにしかも安全な血液製剤を患者さんに提供する事を心掛けています。